

あいさつ

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」校長室に顔を出し、廊下から子ども達があいさつをしてくれます。中には校長室の奥にまで入り、丁寧にあいさつしてくれる強者(?)もいて毎日ほっこりさせてもらっています。

春から、会議や来客がある時以外は常に校長室の扉を開けるようにしています。最初は3年生が主だったのですが、今は2年生や1年生も加わり、色々な子たちが顔を出してくれます。元気なあいさつの3年生に感化(かんか)され、2年生や1年生が育ってくれていることをとても嬉しく思っています。

六ヶ所で生活するようになってから、様々な場所で子ども達に会います。私を見かけて「こんにちは」「こんばんは」と明るくあいさつをしてくれます。普段着の短パンやジャージ・サンダル履き、マスクをしているのでこちらは「この服装だと分からないかも・・・。お家の方と一緒にようだから・・・」と声をかけるのをためらっていると先に「こんにちは」と子ども達に一本取られてしまいます。

あいさつは「あ」明るく 「い」いつでも・何度でも 「さ」先に 「つ」続けて次の言葉を(会話のきっかけを)。そして、「相手に認識してもらえたと確認できて、**あいさつは終わる**」と言われています。街の中でも自然とあいさつを交わせる子ども達を見るたびに、ご家庭での教えをはじめ、温かい目で見守って頂いている地域の方々への感謝がこみ上げてきます。

子ども達の姿から「『挨拶(ひら)いて拶(せま)る』から『挨拶(あいさつ)』。心を開き、距離を縮めるのが大切」との言葉を思い出しました。子ども達から多くの事を学んでいる日々です。